

ユネスコエコパークに関する住民意識調査

山ノ内町観光商工課ユネスコエコパーク推進係

信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 水谷瑞希

1 概要

1.1 はじめに

志賀高原は昭和 55 年（1980 年）にユネスコ（国連教育科学文化機関）の認定制度であるユネスコエコパークとして登録されました。平成 26 年（2014 年）には山ノ内町のほぼ全域が拡張登録され、今後は未登録地である岩菅山東側の魚野川源流域も含め、全町にエリアを拡大する予定です。ユネスコエコパークは貴重な自然を保全しながら、持続可能な社会を実現することを目指しています。その理念を実現するためには、地域住民の理解と参画が不可欠です。

そこで、今回はユネスコエコパークおよび地域社会に対する山ノ内町民の意識や選好を把握するため、住民意識調査を実施しました。この調査は、今後の志賀高原ユネスコエコパークに関する施策検討や取り組み評価の基礎資料とすることを目的としています。

1.2 調査の概要

- 調査対象：山ノ内町民 1,000 名
 - － 母集団は日本国籍をもつ 18 歳以上の山ノ内町居住者
 - － 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法：送付は郵送、回答は郵送もしくはインターネット（Google フォーム）
- 調査期間：令和 5 年 1 月 1～3 月
 - － 調査票発送：令和 5 年 1 月 4 日
 - － 回収期間：令和 5 年 1 月 5 日～2 月 27 日（告知締切 1 月 31 日）
- 回収結果：44.0 %（440 通／1,000 通）

1.3 結果の概要

- ユネスコエコパークの認知度は、前回調査と同様に 87.9 %と高いですが、その目的まで認知している人は半数以下に留まっています（問 1；表 9）。ユネスコエコパークの理念を普及し浸透させることは、依然として課題であることがわかりました。
- ユネスコエコパークと関連が深い『生物多様性』の認知度は 61.0 %（問 2；表 11）で、前回調査（平成 29 年）の 61.4 %とほぼ同じ水準でした。全国と比較すると、前回調査時の世論調査における生物多様性の認知度は 46.4 %（環境問題に関する世論調査 [平成 26 年 7 月調査、内閣府]）で、山ノ内町における認知度はこれを上回っていました。しかし今回調査時の世論調査における認知度は 72.6 %（生物多様性に関する世論調査 [令和 4 年 7 月調査、内閣府]）と上昇したのに対し、前回調査と同水準だった山ノ内町における認知度は、相対的にこれを下回りました。世論調査の結果では、生物多様性の認知度には年齢層による差があり、高齢層で認知度が低いことが示唆されています。したがって、本調査でも回答者が高齢層に偏っていた

ことが、結果に影響を与えた可能性があります。

- 「ユネスコエコパークに居住していることを意識している」と回答した住民は 29.9 %でした（問 3；表 12）。また、「ユネスコエコパークに居住していることを意識した行動」を行っている住民は 25.7 %でした（問 4；表 13）。しかし、その割合はユネスコエコパークに居住していることを意識しているか否かによって異なり、意識している住民では 6 割近くが行動につながっていたのに対し、そうでない住民では 1 割程度にとどまっていました。具体的な活動としては、地域活動への参加やエコ活動など、生活に関わる内容が多く挙げられました。このことから、地域がユネスコエコパークであることを活かし、その普及啓発を通じて持続可能な社会に向けた意識や行動の変容につなげる施策が有効であると考えられます。
- ユネスコエコパークに関する町の施策について、情報発信については約 6 割の認知度があったものの、他の施策については認知度が高くありませんでした（問 5；表 14）。今後の取り組みについては、現状維持という意見が最も多かったものの、1 割から 2 割程度の人々からはより拡大すべきという意見もありました。引き続き情報発信を通じて、ユネスコエコパークの普及・啓発を進めるとともに、他の施策を有機的に組み合わせながら、その推進を図ることが必要です。
- 優先的に取り組むべき施策分野としては、農地や森林の保全（55.7 %）や自然環境や生物多様性の保全に関連する取り組み（45.4 %）など、地域の自然資源の保全に関連する取り組みが最も重視されていました（問 6；表 15）。また再生可能エネルギーの活用（48.7 %）も高い支持を受けており、このことは地域資源を活かして持続可能な地域社会を構築する鍵になる可能性があります。地域資源の活用については、農林業の価値向上に関すること（32.0 %）が、観光振興に関すること（30.9 %）と同程度に期待されていました。また学校教育における ESD の推進（33.1 %）も、同じくらい支持されていました。この結果は町民の自然や文化といった地域資源に対する価値観や関心を反映したもので、今後のユネスコエコパークの運営方針や地域振興策に活かすことが望まれます。
- ESD の認知度は前回の調査に比べて低下しましたが、今後の取り組みについては引き続き積極的な意見が多くありました（問 7；表 16,17）。学校における ESD を引き続き推進するとともに、学校を地域づくりの拠点として活用することが期待されます。
- 地域活動への参加や地域の協働力は、前回の調査と比較して低下しているものの、引き続き高い水準にあります（問 8～11）。ただし、これらの項目については、回答者の属性（年齢層や家庭の構成など）の影響が想定されるため、階層別に分析を進め、その傾向を把握する必要があります。

お問い合わせ

お問い合わせ先：山ノ内町観光商工課 ユネスコエコパーク推進係

担当：山本

連絡先電話番号：0269(33)1107

連絡先メールアドレス：shigakogen-unesco@town.yamanouchi.lg.jp

2 調査結果

- 有効回答はそれぞれの質問に基づいて判断しています。そのため、有効回答数は回答総数と異なる場合があります。
- 自由記述の内容は省略します。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。

2.1 回答者の属性

	回答			
あなたの性別をお答えください。	1 男性	2 女性	3 その他	4 回答しない
あなたのお住まいの地区をお答えください。	1 志賀高原 4 金安 7 上条 10 穂波温泉 13 本郷 16 須賀川	2 杳野・湯ノ原 5 星川 8 湯河原 11 菅・寒沢 14 宇木	3 渋・横湯 6 湯田中 9 佐野 12 戸狩 15 横倉・前坂	
あなたの年齢をお答えください。	1 18～29 歳 4 50～59 歳	2 30～39 歳 5 60～69 歳	3 40～49 歳 6 70 歳以上	
あなたは、現在のところにお住まいになってから、何年になりますか。同一自治会（区）内程度の転居は現在のところとしてお答えください。	1 1 年未満 3 3 年以上～5 年未満 5 10 年以上～20 年未満 7 30 年以上	2 1 年以上～3 年未満 4 5 年以上～10 年未満 6 20 年以上～30 年未満 8 生まれてからずっと		
あなたのご家庭に中学生以下の子どもはいらっしゃいますか。それぞれ該当するものに○をつけてください。	小学生未満 (1 いる ・ 2 いない) 小学生 (1 いる ・ 2 いない) 中学生 (1 いる ・ 2 いない)			
あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。	1 非常に関心がある 3 あまり関心がない	2 ある程度関心がある 4 まったく関心がない		
あなたを含め、ご家庭に観光業に従事している方はいらっしゃいますか。	1 自分自身が従事している 2 自分は従事していないが、家族が従事している 3 家庭内に従事者はいない			
あなたを含め、ご家庭に農業(家庭菜園を除く)に従事している方はいらっしゃいますか。	1 自分自身が従事している 2 自分は従事していないが、家族が従事している 3 家庭内に従事者はいない			

2.1.1 性別・居住地区・年齢

表 1 性別

	人数	(%)
1 男性	187	44.4
2 女性	227	53.9
3 その他	1	0.2
4 回答しない	6	1.4
合計	421	100.0

表 3 年齢層

	人数	(%)
1 18～29 歳	23	5.3
2 30～39 歳	29	6.7
3 40～49 歳	49	11.4
4 50～59 歳	60	13.9
5 60～69 歳	100	23.2
6 70 歳以上	170	39.4
合計	421	100.0

表 2 居住地区

	人数	(%)
1 志賀高原	5	1.2
2 沓野・湯ノ原	46	10.7
3 渋・横湯	7	1.6
4 金安	11	2.6
5 星川	14	3.3
6 湯田中	29	6.7
7 上条	32	7.4
8 湯河原	9	2.1
9 佐野	78	18.1
10 穂波温泉	19	4.4
11 菅・寒沢	31	7.2
12 戸狩	29	6.7
13 本郷	22	5.1
14 宇木	28	6.5
15 横倉・前坂	31	7.2
16 須賀川	39	9.1
合計	430	100.0

2.1.2 居住年数

あなたは、現在のところにお住まいになってから、何年になりますか。同一自治会（区）内程度の転居は現在のところとしてお答えください。

表 4 居住年数

	人数	(%)
1 1 年未満	3	0.7
2 1 年以上～3 年未満	7	1.6
3 3 年以上～5 年未満	10	2.3
4 5 年以上～10 年未満	14	3.2
5 10 年以上～20 年未満	41	9.5
6 20 年以上～30 年未満	44	10.2
7 30 年以上	171	39.7
8 生まれてからずっと	141	32.7
合計	431	100.0

2.1.3 子どもの有無

あなたのご家庭に中学生以下の子どもはいらっしゃいますか。それぞれ該当するものに○をつけてください。

表5 子どもの有無

	1 いる		2 いない		合計	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
小学生未満	42	10.6	353	89.4	395	100.0
小学生	59	14.6	346	85.4	405	100.0
中学生	43	10.8	356	89.2	399	100.0
いずれかに該当	79	19.8	320	80.2	399	100.0

2.1.4 自然への関心

あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。

表6 自然への関心

	人数	(%)
1 非常に関心がある	79	18.4
2 ある程度関心がある	273	63.6
3 あまり関心がない	72	16.8
4 まったく関心がない	5	1.2
合計	429	100.0

2.1.5 観光業・農業との関わり

あなたを含め、ご家庭に観光業に従事している方はいらっしゃいますか。

表7 観光業との関わり

	人数	(%)
1 自分自身が従事している	39	9.1
2 自分は従事していないが、家族が従事している	25	5.8
3 家庭内に従事者はいない	365	85.1
合計	429	100.0

あなたを含め、ご家庭に農業（家庭菜園を除く）に従事している方はいらっしゃいますか。

表 8 農業との関わり

	人数	(%)
1 自分自身が従事している	101	23.7
2 自分は従事していないが、家族が従事している	54	12.6
3 家庭内に従事者はいない	272	63.7
合計	427	100.0

2.2 ユネスコエコパークについて

2.2.1 制度の認知度

問1 自然環境の保全を目的とした、以下の国際的な制度をご存じですか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

表 9 国際的制度の認知度

	エコパーク		世界自然遺産		ジオパーク		ラムサール	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
1 知っている	141	32.7	211	49.3	64	15.2	37	8.8
2 よくは知らないが聞いたことはある	238	55.2	190	44.4	194	46.1	115	27.3
3 聞いたこともない	22	5.1	8	1.9	72	17.1	151	35.8
4 わからない	30	7.0	19	4.4	91	21.6	119	28.2
合計	431	100.0	428	100.0	421	100.0	422	100.0

※ユネスコエコパークについて知っている、もしくは聞いたことがあると回答された方にうかがいます。ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的とする取り組みです。あなたは、このユネスコエコパークの目的をご存じでしたか？ あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

表 10 ユネスコエコパークの目的

	人数	(%)
1 知っていた	159	42.9
2 知らなかった	172	46.4
3 わからない	40	10.8
合計	371	100.0

問2 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか？ あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

表 11 生物多様性の認知

	人数	(%)
1 上の説明を読む前から言葉の意味を知っていた	97	22.7
2 上の説明を読むまで意味は知らなかったが、言葉は聞いたことがあった	164	38.3
3 上の説明を読むまで聞いたことがなかった	143	33.4
4 わからない	24	5.6
合計	428	100.0

2.2.2 意識・行動の変容

問3 あなたは普段の生活の中で、ご自身がユネスコエコパークのエリア内に住んでいることを意識することはありますか？

表 12 エコパークを意識すること

	人数	(%)
1 ある	131	29.9
2 ない	307	70.1
合計	438	100.0

※「ある」と回答された方にうかがいます。それはどのような時ですか？ あてはまる番号すべてに○をつけてください。

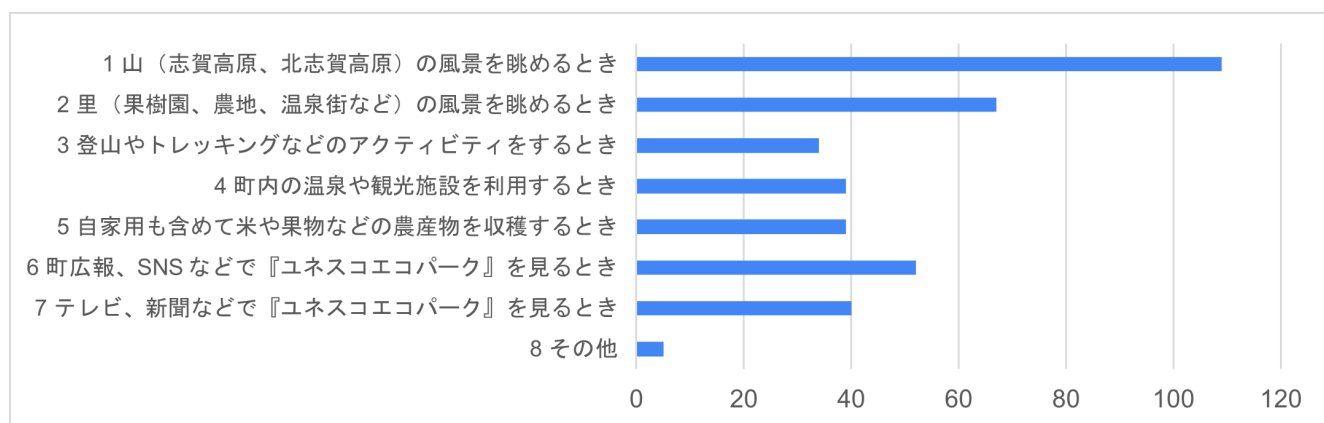


図 1 意識するとき（複数回答）

問4 ユネスコエコパークのエリア内に住んでいることを意識して（そのために）取り組んでいる行動はありますか？

表 13 エコパークを意識した行動

	人数	(%)
1 ある	112	25.7
2 ない	324	74.3
合計	436	100.0

※「ある」と回答された方にうかがいます。それはどのような行動（活動）ですか？ あてはまる番号すべてに○をつけてください。

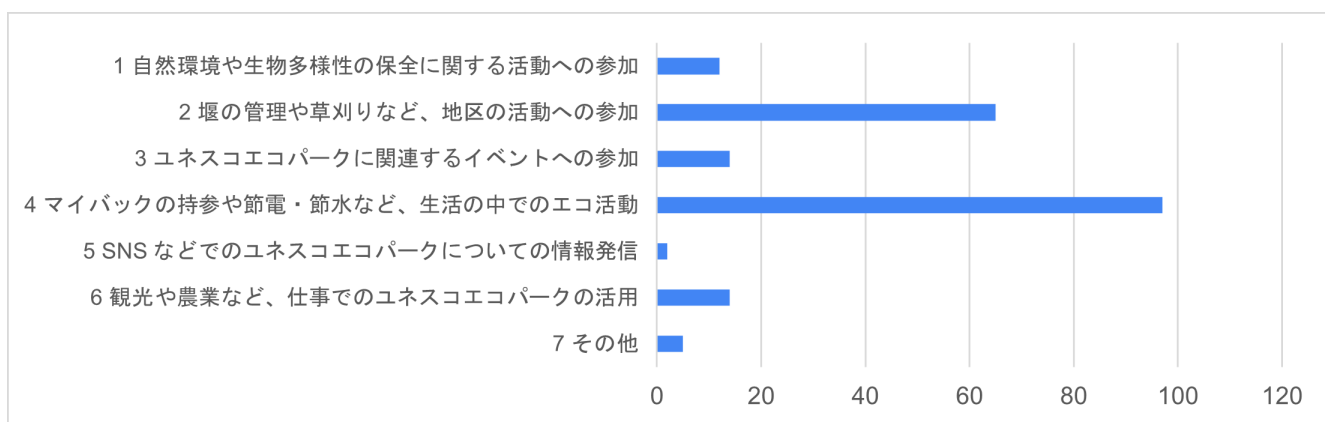


図 2 あてはまる行動（複数回答）

2.2.3 取り組み・施策の認知・評価

問5 山ノ内町が実施しているユネスコエコパークに関する取り組みについて、あなたはどの程度知っていますか？また、今後どうすべきだと思いますか？ それぞれについて、もっともあてはまる番号ひとつずつに○をつけてください。

表 14 町の取り組み

町の取り組み		知っているか					今後の取り組み				
		よく知っている	ある程度知っている	聞いたことがある	知らない	総計	現在より拡大すべき	そのまま続けるべき	現在より縮小すべき	わからない	総計
情報発信	人数	25	105	137	155	422	92	193	10	119	414
	(%)	5.9	24.9	32.5	36.7	100.0	22.2	46.6	2.4	28.7	100.0
セミナーの開催	人数	14	58	111	224	407	48	206	10	136	400
	(%)	3.4	14.3	27.3	55.0	100.0	12	51.5	2.5	34.0	100.0
環境学習の受入	人数	16	45	93	254	408	70	184	9	138	401
	(%)	3.9	11.0	22.8	62.3	100.0	17.5	45.9	2.2	34.4	100.0
活動補助金の交付	人数	10	30	60	306	406	61	178	12	150	401
	(%)	2.5	7.4	14.8	75.4	100.0	15.2	44.4	3.0	37.4	100.0

問6 ユネスコエコパークでは、自然環境の保全や地域振興、調査・教育など、多岐にわたる取り組みをバランスよく進めていくことが求められることから、「志賀高原ユネスコエコパーク管理運営計画」では、次に掲げる取り組みを推進していくこととしています。この中で、特に力を入れるべきと考える取り組みの番号に4つ○をつけてください。

表 15 施策の優先度

分類	選択肢	件数	(%)※
自然資源の保全	1 自然再生や外来生物の駆除など、自然環境や生物多様性の保全に関する事	163	45.4
	2 堰の維持管理や水源涵養林の保全など、水資源保全に関する事	136	37.9
	3 省エネルギー・省資源の推進など、持続可能なライフスタイルに関する事	93	25.9
	4 耕作放棄地対策、災害に強い森林づくりなど農地や森林の保全に関する事	200	55.7
自然資源の活用	5 環境保全型農業等による農産物ブランド化など、農林業の価値向上に関する事	115	32.0
	6 温泉熱や雪氷熱の活用など、再生可能エネルギーの活用に関する事	175	48.7
文化資源の保全	7 里山・農村景観や温泉街などの景観保全に関する事	128	35.7
	8 地域の文化財の維持管理や郷土芸能・祭礼の継承など郷土文化の保全に関する事	84	23.4
文化資源の活用	9 地域の自然や文化を活かしたエコツーリズムの推進など、観光振興に関する事	111	30.9
	10 伝統文化を生かした経済価値の創出・向上に関する事	42	11.7
ESDの推進	11 学校教育での環境学習や地域学習に関する事	119	33.1
	12 社会教育での地域住民を対象とした環境学習や地域学習に関する事	77	21.4

※(有効回答数 359件に対する割合)

2.3 ESDについて

問7 町内の小中学校では、ESDとして環境学習や地域学習に取り組んでいることをご存じでしたか？また、こうした取り組みについてどう思いますか。

(1) 取り組みの認知 ※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

表 16 取り組みの認知

	人数	(%)
1 知っていた	124	28.8
2 知らなかった	265	61.5
3 わからない	42	9.7
合計	431	100.0

(2) 今後の取り組み ※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

表 17 今後の取り組みへの意向

	人数	(%)
1 積極的に取り組むべき	156	36.5
2 ある程度積極的に取り組むべき	160	37.5
3 どちらともいえない	43	10.1
4 あまり積極的に取り組まなくて良い	4	0.9
5 積極的に取り組まなくて良い	3	0.7
6 わからない	61	14.3
合計	427	100.0

(3) ESDで取り組む課題について、ご提案があればご自由にご記入ください。

(自由記述につき省略)

2.4 地域について

2.4.1 地域活動

問8 あなたは以下の地域活動にどれくらい参加していますか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

表 18 地域活動への参加

		参加 している	時々参加 している	参加して いない	そのような 活動がない	有効回答
地区内の道路などの 清掃や草刈り	人数 (%)	225 53.3	65 15.4	108 25.6	24 5.7	422 100.0
河川・用水路などの 清掃や維持管理	人数 (%)	185 43.9	75 17.8	130 30.9	31 7.4	421 100.0
お祭りなどの伝統的 行事	人数 (%)	133 32.0	153 36.8	120 28.8	10 2.4	416 100.0
神社などの維持管理	人数 (%)	105 24.9	86 20.4	204 48.5	26 6.2	421 100.0
神楽などの伝統文 化・芸能活動	人数 (%)	44 10.7	57 13.8	255 61.7	57 13.8	413 100.0
運動会やレクリエー ション活動	人数 (%)	64 15.4	93 22.4	197 47.5	61 14.7	415 100.0

2.4.2 地域の協働力

問9 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか？（１）と（２）についてそれぞれ、あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

（１）つきあいの程度

表 19 つきあいの程度

	人数	(%)
1 互いに相談したり、生活面などで協力しあっている人がいる	122	28.2
2 日常的に立ち話しをする程度のつきあいは、している	187	43.2
3 あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない	116	26.8
4 つきあいは全くしていない	6	1.4
5 わからない	2	0.5
合計	433	100.0

（２）つきあいのある人の数

表 20 つきあいのある人の数

	人数	(%)
1 近所のかなり多くの人と面識・交流がある	74	17.1
2 ある程度の人との面識・交流がある	227	52.4
3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある	120	27.7
4 隣の人がだれかも知らない	4	0.9
5 わからない	8	1.9
合計	433	100.0

問 10 お住まいの町内（自治会の範囲）について感じていることについてうかがいます。（１）と（２）について、あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

（１）あなたの地域はまとまりがあると感じますか （２）地域に愛着や誇りを感じていますか

表 21 地域の評価

			(2) 地域への愛着や誇り					
			とても感じる	多少感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	合計
(1) 地域のまとまり	とても感じる	人数 (%)	36 8.2	15 3.4	1 0.2			52 11.8
	多少感じる	人数 (%)	32 7.3	157 35.8	31 7.1	1 0.2	5 1.1	226 51.5
	あまり感じない	人数 (%)	5 1.1	49 11.2	49 11.2	4 0.9	2 0.5	109 24.8
	全く感じない	人数 (%)		4 0.9	5 1.1	8 1.8		17 3.9
	わからない	人数 (%)	1 0.2	10 2.3	8 1.8	1 0.2	15 3.4	35 8.0
	合計	人数 (%)	74 16.9	235 53.5	94 21.4	14 3.2	22 5.0	439 100.0

2.4.3 居住意向

問 11 あなたは山ノ内町に今後も住み続けたいと思いますか。

表 22 居住意向

	人数	(%)
1 住み続けたい	176	40.3
2 どちらかといえば住み続けたい	160	36.6
3 どちらかといえば住み続けたくない	40	9.2
4 住み続けたくない	10	2.3
5 わからない	51	11.7
合計	437	100.0

2.4.4 自由記述

志賀高原ユネスコエコパークについてのご意見、ご提案があればご自由にご記入ください。

（自由記述につき省略）

3 資料：アンケート調査票

志賀高原ユネスコエコパークに関する アンケート調査へのご協力をお願い

平素から町行政につきまして、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、志賀高原は昭和 55 年（1980 年）にユネスコ（国連教育科学文化機関）の認定制度であるユネスコエコパークとして登録され、さらに平成 26 年（2014 年）には山ノ内町の里地（居住地域）が拡張登録されました。山間部にある岩菅山東側の魚野川源流域はエリアの未登録地であるため、今後はエリアを全町に広げ、持続可能な社会の実現を目指し、より一層取り組みを進めていく必要があります。

そこで今回、ユネスコエコパークに対する町民の皆さまの意識やご意向を伺うとともに、今後のユネスコエコパークに関する施策の企画や取り組み評価の基礎資料とするため、アンケート調査を実施することとしました。

なお本調査は、信州大学の協力により実施するものであり、対象者は 18 歳以上の町民の皆さまの中から 1,000 人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。ご回答いただいた情報は個人や個別の情報が特定されることのないよう、統計的に処理しますので、ご安心ください。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨にご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和 4 年 12 月 山ノ内町長 竹節 義孝

ご記入、ご返送に際してのお願い

- ・ 回答は本調査票のほか、下記 URL・QR コードの Web ページから行うことができます。
[回答用 URL <http://>]
- ・ アンケートの回答は、あて名のご本人様が記入してください。本人の記入が難しい場合は、家族の方などが本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- ・ 回答では設問ごとの説明にしたがって、あてはまる番号（数字）に○印をつけてください。
- ・ 選択肢の中で「その他」に回答された場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ ご記入いただいた調査票については、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、1月31日（火）までに返送をお願いします。
- ・ この調査に関して、ご不明・ご不審な点がございましたら下記までお問い合わせください。

【アンケートに関する問い合わせ先】

山ノ内町観光商工課 ユネスコエコパーク推進室
電話 33-1107 担当：小林 田中

回答はこちらから

QR コード

あなたご自身のことについておたずねします

	回答
あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 その他 4 回答しない
あなたのお住まいの地区をお答えください。	1 志賀高原 2 杳野・湯ノ原 3 渋・横湯 4 金安 5 星川 6 湯田中 7 上条 8 湯河原 9 佐野 10 穂波温泉 11 菅・寒沢 12 戸狩 13 本郷 14 宇木 15 横倉・前坂 16 須賀川
あなたの年齢をお答えください。	1 18～29 歳 2 30～39 歳 3 40～49 歳 4 50～59 歳 5 60～69 歳 6 70 歳以上
あなたは、現在のところにお住まいになってから、何年になりますか。同一自治会（区）内程度の転居は現在のところとしてお答えください。	1 1 年未満 2 1 年以上～3 年未満 3 3 年以上～5 年未満 4 5 年以上～10 年未満 5 10 年以上～20 年未満 6 20 年以上～30 年未満 7 30 年以上 8 生まれてからずっと
あなたのご家庭に中学生以下の子どもはいらっしゃいますか。それぞれ該当するものに○をつけてください。	小学生未満（1 いる ・ 2 いない） 小学生 （1 いる ・ 2 いない） 中学生 （1 いる ・ 2 いない）
あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。	1 非常に関心がある 2 ある程度関心がある 3 あまり関心がない 4 まったく関心がない
あなたを含め、ご家庭に観光業に従事している方はいらっしゃいますか。	1 自分自身が従事している 2 自分は従事していないが、家族が従事している 3 家庭内に従事者はいない
あなたを含め、ご家庭に農業（家庭菜園を除く）に従事している方はいらっしゃいますか。	1 自分自身が従事している 2 自分は従事していないが、家族が従事している 3 家庭内に従事者はいない

『ユネスコエコパーク』についておたずねします

問1 自然環境の保全を目的とした、以下の国際的な制度をご存じですか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ〇をつけてください。

ユネスコエコパーク ※	1 知っている 3 聞いたこともない	2 よくは知らないが聞いたことはある 4 わからない
世界自然遺産	1 知っている 3 聞いたこともない	2 よくは知らないが聞いたことはある 4 わからない
ジオパーク	1 知っている 3 聞いたこともない	2 よくは知らないが聞いたことはある 4 わからない
ラムサール登録湿地	1 知っている 3 聞いたこともない	2 よくは知らないが聞いたことはある 4 わからない

※ユネスコエコパークについて知っている、もしくは聞いたことがあると回答された方にうかがいます。ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的とする取り組みです。あなたは、このユネスコエコパークの目的をご存じでしたか？ あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

1 知っていた 2 知らなかった 3 わからない

——— 生物多様性とは ———

生物多様性とは、生き物の多様性を示す概念です。地球上では、海、山、川など様々な自然環境で、多様な生き物が、互いにつながり合い、支え合って生きており、それらが調和を保っている状態を維持することが重要です。私たち人間の暮らしも、多くの生き物とつながっており、例えば食材や衣服、薬の原材料なども、生物多様性の恵みということができます。

問2 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか？ あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- 1 上の説明を読む前から言葉の意味を知っていた
2 上の説明を読むまで意味は知らなかったが、言葉は聞いたことがあった
3 上の説明を読むまで聞いたことがなかった 4 わからない

志賀高原ユネスコエコパークについておたずねします

問3 あなたは普段の生活の中で、ご自身がユネスコエコパークのエリア内に住んでいることを意識することはありますか？

1 ある 2 ない

※「ある」と回答された方にうかがいます。それはどのような時ですか？ あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 山（志賀高原、北志賀高原）の風景を眺めるとき
- 2 里（果樹園、農地、温泉街など）の風景を眺めるとき
- 3 登山やトレッキングなどのアクティビティをするとき
- 4 町内の温泉や観光施設を利用するとき
- 5 自家用も含めて米や果物などの農産物を収穫するとき
- 6 町広報、SNSなどで『ユネスコエコパーク』を見るとき
- 7 テレビ、新聞などで『ユネスコエコパーク』を見るとき
- 8 その他（ ）

問4 ユネスコエコパークのエリア内に住んでいることを意識して（そのために）取り組んでいる行動はありますか？

1 ある 2 ない

※「ある」と回答された方にうかがいます。それはどのような行動（活動）ですか？ あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自然環境や生物多様性の保全に関する活動への参加
- 2 堰の管理や草刈りなど、地区の活動への参加
- 3 ユネスコエコパークに関連するイベントへの参加
- 4 マイバックの持参や節電・節水など、生活の中でのエコ活動
- 5 SNS などでのユネスコエコパークについての情報発信
- 6 観光や農業など、仕事でのユネスコエコパークの活用
- 7 その他（ ）

問5 山ノ内町が実施しているユネスコエコパークに関する取り組みについて、あなたはどの程度知っていますか？また、今後どうすべきだと思いますか？ それぞれについて、もっともあてはまる番号ひとつずつに○をつけてください。

町の取り組み	知っているか				今後の取り組み			
	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことがある	知らない	現在より拡大すべき	そのまま続けるべき	現在より縮小すべき	わからない
情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
セミナーの開催	1	2	3	4	1	2	3	4
環境学習の受入	1	2	3	4	1	2	3	4
活動補助金の交付	1	2	3	4	1	2	3	4

- 情報発信：町広報、ホームページ、Facebook などでの情報発信
- セミナーの開催：志賀高原ユネスコエコパークセミナー（年5回程度）の開催
- 環境学習の受入：足立区の親子やイオンチアーズクラブなどを受け入れて環境学習を提供
- 活動補助金の交付：志賀高原ユネスコエコパークに資する活動に対して補助金を交付

問6 ユネスコエコパークでは、自然環境の保全や地域振興、調査・教育など、多岐にわたる取り組みをバランスよく進めていくことが求められることから、「志賀高原ユネスコエコパーク管理運営計画」では、次に掲げる取り組みを推進していくこととしています。この中で、特に力を入れるべきと考える取り組みの番号に4つ○をつけてください。

■自然資源の保全

- 1 自然再生や外来生物の駆除など、自然環境や生物多様性の保全に関する事
- 2 堰の維持管理や水源涵養林の保全など、水資源保全に関する事
- 3 省エネルギー・省資源の推進など、持続可能なライフスタイルに関する事
- 4 耕作放棄地対策、災害に強い森林づくりなど農地や森林の保全に関する事

■自然資源の活用

- 5 環境保全型農業等による農産物ブランド化など、農林業の価値向上に関する事
- 6 温泉熱や雪氷熱の活用など、再生可能エネルギーの活用に関する事

■文化資源の保全

- 7 里山・農村景観や温泉街などの景観保全に関する事
- 8 地域の文化財の維持管理や郷土芸能・祭礼の継承など郷土文化の保全に関する事

■文化資源の活用

- 9 地域の自然や文化を活かしたエコツーリズムの推進など、観光振興に関する事
- 10 伝統文化を生かした経済価値の創出・向上に関する事

■E S Dの推進

- 11 学校教育での環境学習や地域学習に関する事
- 12 社会教育での地域住民を対象とした環境学習や地域学習に関する事

小中学校でのE S Dの取り組みについておたずねします

ユネスコエコパークの重要な機能のひとつに教育活動があり、特にE S Dでの活用が期待されています。山ノ内町では全ての小中学校がユネスコスクールに加盟して、E S Dを推進しています。

E S Dとユネスコスクール

E S Dは、日本語で「持続可能な開発のための教育」と言います。環境や貧困、平和といった様々な課題を知り、自分との関わりに気づき、解決のため具体的に行動できる子どもたちを増やすことを目標に、自ら問題を解決する力や相手を思うコミュニケーション能力といった「生きる力」を育む教育です。S D G s（持続可能な開発目標）において、E S Dは目標のひとつとして位置づけられるとともに、人づくりを通じて、すべての目標を達成する鍵としても注目されています。

ユネスコスクールは、ユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校で、日本ではE S Dの推進拠点としても位置づけられています。

問7 町内の小中学校では、E S Dとして環境学習や地域学習に取り組んでいることをご存じでしたか？また、こうした取り組みについてどう思いますか。

(1) 取り組みの認知 ※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 知っていた 2 知らなかった 3 わからない

(2) 今後の取り組み ※あてはまる番号にひとつ○をつけてください。

1 積極的に取り組むべき 2 ある程度積極的に取り組むべき
3 どちらともいえない 4 あまり積極的に取り組まなくて良い
5 積極的に取り組まなくて良い 6 わからない

(3) E S Dで取り組む課題について、ご提案があればご自由にご記入ください。

.....
.....

地域活動への参加やお住まいの地域のことについておたずねします

ユネスコエコパークでは、住民による環境保全活動や伝統文化の継承といった地域の取り組みが重視されています。また、持続可能な社会を実現するための鍵となる、地域のつながりの強さなどの指標も注目されています。

問8 あなたは以下の地域活動にどれくらい参加していますか？ あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

	参加 している	時々参加 している	参加 していない	そのような 活動がない
地区内の道路などの清掃や草刈り	1	2	3	4
河川・用水路などの清掃や維持管理	1	2	3	4
お祭りなどの伝統的行事	1	2	3	4
神社などの維持管理	1	2	3	4
神楽などの伝統文化・芸能活動	1	2	3	4
運動会やレクリエーション活動	1	2	3	4

問9 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか？ (1)と(2)についてそれぞれ、あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

(1) つきあいの程度

- 1 互いに相談したり、生活面などで協力しあっている人がいる
- 2 日常的に立ち話しをする程度のつきあいは、している
- 3 あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
- 4 つきあいは全くしていない
- 5 わからない

(2) つきあいのある人の数

- 1 近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね 20 人以上）
- 2 ある程度の人との面識・交流がある（概ね 5～19 人）
- 3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね 4 人以下）
- 4 隣の人がだれかも知らない
- 5 わからない

(1)と(2)について、あてはまる番号にそれぞれひとつ○をつけてください。

1 とても感じる 2 多少感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない 5 わからない

1 とても感じる 2 多少感じる 3 あまり感じない 4 全く感じない 5 わからない

1 住み続けたい 2 どちらかといえば住み続けたい
3 どちらかといえば住み続けたくない 4 住み続けたくない 5 わからない

志賀高原ユネスコエコパークについてのご意見、ご提案があればご自由にご記入ください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

8